

第45回東北中学校バスケットボール大会



試合No.	D4	男子予選リーグ	
会場	マエダアリーナ	日時	平成27年8月9日 13:00

チーム A	12 1st 13	チーム B
巻堀中学校	41 { 7 2nd 14 } 49	中央台北中学校
	18 3rd 11	
	4 4th 11	
	OT	

No.	選手氏名	PI-in	2P	3P	FT	PTS	Fouls	No.	選手氏名	PI-in	2P	3P	FT	PTS	Fouls
4	工藤 璃空 CAP	×			3	3	2	4	仲里 有人 CAP	×	3	1	3	12	3
5	立花 和太	×	3	2	2	14	3	5	三浦 拓真	×	1			2	4
6	小川 龍輝	×	6		1	13	1	6	木田 陽大	×	5			10	4
7	宮野 考生	×	1		2	4	4	7	三浦 京也	/	1			2	1
8	山口 祐紀	/					1	8	松本 健	×	7			14	2
9	中村 将稀	×	1	1	2	7	1	9	野崎 元貴	/					
10	福来 龍神	/						10	工藤 峻真						
11	高瀬 翔							11	伊藤 将樹						
12	古川 健太							12	木戸 鼓太郎						
13	伊藤 真聖							13	馬目 祐太						
14	畠山 優太							14	小松 大紀						
15	佐々木 雅							15	宗形 翔						
16	佐々木 聖成							16	片寄 颯人						
17	中村 優玖							17	四家 魁人	×	3	1		9	
18	櫻庭 玲音							18	松本 悠暉						
コーチ	高橋 桂							コーチ	牛来 春幸						
本数			11	3	10	本数			20	2	3				
合計点数			22	9	10	41	12	合計点数			40	6	3	49	14

主審(Referee)

秋庭 淳

第1副審(Umpire1)

宇佐美 潤

第2副審(Umpire2)

テーブルオフィシャルズ

青森市立佃中学校

※ ×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー Fouls:ファウル *印はエントリー変更

第1ピリオド、お互いマンツーマンディフェンスでスタート。中央台北は激しいディフェンスから速い展開で攻めるのに対し、巻堀はそのディフェンスをあわてずに1対1で攻める立ち上がりとなった。初戦の中央台北はミスが多くなかなかリズムに乗れない様子。中央台北#8松本が出血でベンチに下がるが全員リバウンドでボールを追い続け、13-12の中央台北リードで終了。

第2ピリオド、中央台北はドライブからゴール下への合わせのパスが決まり加点していく。21-12と中央台北のリードが広がったところで巻堀がタイムアウトを取る。タイムアウト後、中央台北のミスが多くなり、3-2ゾーンディフェンスに変えると巻堀は次第に攻めあぐむようになる。27-19の中央台北リードで終了。

第3ピリオド、巻堀はゾーンプレスからの1-3-1ゾーン、中央台北はマンツーマンディフェンスでスタート。巻堀#5立花の3Pシュートが2本決まり同点に追いつき、中央台北がタイムアウト。その後も巻堀は#5立花の1対1を中心に攻めに対し、中央台北はミドルシュートで加点する。残り1分34秒、34-33で巻堀に疲れが見え、巻堀がタイムアウト。中央台北のファウルが増え、巻堀はフリースローで確実に加点し、38-37の中央台北リードで終了。

第4ピリオド、お互いのミスで得点に結びつかない硬直状態となり、残り3分で40-39の中央台北リード。2分40秒に中央台北#8松本のバスケットカウントで巻堀タイムアウト。その後、中央台北はしつこいオフェンスリバウンドでボールをつなぎシュートまで持ち込み点差を広げる。巻堀もミドルシュートを決めて対抗する。1分7秒、中央台北の3点リードの場面で、中央台北がタイムアウト。中央台北#4仲里がファウルを受けながらも3Pを決めて47-41の中央台北リード。巻堀は強引に1対1を仕掛けるがシュート決まらず、そのリバウンドを速攻で決めた中央台北が49-41で勝利を収めた。